

【9面(地方)】



コンテストの決勝大会に臨む太田さん  
(日本エステティック協会提供)

コンテストは日本エステティック協会(東京都)が協会認定校の技術向上を目的に毎年開催。ボディーエステ技術を競う本部門と、ボディーフレイシタルの技術を競う応用部門があり、全国から予選を勝ち抜いた各部門16人計32人が練習の成果を披露した。

用部門は、客を迎える準備から施術、見送り、後片付けまでを90分間で行う。審査員は出場者がサロンで働けるレベルかといった実践的な目線で評価する。同校では7月に学内の教師が審査する選考会を開催。基本部門を希望する生徒が多い中、太田さんはいろいろなことをやって

# いたテ 磨エス 全国V

## 美しく所作接客・施術

横浜市で10月に開催された「第15回エステティックコンテスト」決勝大会で、河原ビューティモード専門学校(松山市一番町1丁目)のトータルビューティ学科1年太田蘭さん(18)が写真が応用部門で1位を獲得した。入学して約半年で、愛媛の出場者として初優勝という快挙を成し遂げた。

### 松山河原専門学校太田さん



### 入学半年愛媛初の快挙

みたいと応用部門を希望し、学校代表に選ばれた。9月にオンラインで開催されたコンテストの予選では、緊張のあまり頭が真っ白になり、足が震えたという太田さん。施術は全身を使ってリズムカルに行うが、手技と体の動きの連動がうまくいっていないと先生に指摘され、スムーズに動けるよう練習し決勝大会に備えた。身だしなみや接客も審査対象になるため、立ち居振る舞いにも気を配った。指導した教員の中島舞さん(24)は「たくさん練習したことで動きへの理解が深まり、所作がきれいになった。物事を貪欲に吸収するタイプだから成長も早い」と話す。

決勝大会では、緊張で顔がこわばらないよう笑顔を意識し、体の動きも練習通りできるように力を尽くした。「応用部門は2年生が多く、入賞できればラッキーと思っていた。1位で名前を呼ばれた時、練習の成果が出たとうれしくて涙が出た」と話した。

太田さんは2024年にフランス・リヨンで開催される「技能五輪国際大会」の日本代表選手を選ぶ最終選考会(23年12月開催予定)に出場する。「技術だけでなく知識も身に付けたい。リヨンの国際大会に行きたい」と意気込み、さらなる技能の向上を目指している。

(中鋪晴子)

【1面(総合)】

地方 エステ施術 全国頂点に 9面

河原ビューティモード専門学校の生徒がエステティックコンテストで全国1位に輝いた。入学からわずか半年の快挙。2024年にフランスで開催される技能五輪に向け、日本代表の最終選考会出場も決まった。次の目標を掲げ、知識と技術に磨きをかけている。

